

J R山陰本線（園部～綾部）沿線地域公共交通活性化協議会 開催結果（第34回）

1. 日 時

令和8年9月9日（水） 14時30分から16時30分まで

2. 場 所

京丹波町役場 議会棟2階 大会議室

3. 出席者

委員21名（うち代理2名）（別紙 出席者名簿参照）

4. 当日資料

別紙のとおり

5. 議 題

・議題第1号 協議会規約の改正について

⇒承認

・議題第2号 地域公共交通計画（中間案）について

⇒会長一任で修正のうえパブリックコメントを実施

・議題第3号 園福線地域旅客運送サービス継続実施計画（案）について

⇒修正内容を次回協議会で協議

6. 主な内容・意見

〈議題第1号 協議会規約の改正について〉

○ 福知山市が加わることから、協議会名称について見直しを検討してはどうか。

（事務局回答）現時点で名称変更は予定していない。

○ 日本交通株式会社はバス事業者及びタクシー事業者の双方に該当することとなるため、委員としての取扱いについて整理が必要ではないか。

（事務局回答）必要に応じて運用を整理したい。

〈議題第2号 地域公共交通計画（中間案）について〉

○ 5年後の姿については、協議会として実現を目指す将来像として整理する必要がある。

○ 安全・安心やバリアフリーの観点についても計画へ反映する必要がある。

（事務局回答）現状を整理した上で、計画への位置付けを検討したい。

○ 駅や交通拠点、その周辺施設に係る記載については、利用者に分かりやすい表現へ整理する必要がある。

（事務局回答）表現を整理し修正する。

○ 計画の基本方針②について、計画の対象は鉄道だけでなくバスも含んでいることから、「列車運行頻度の増加につながるよう」との表現は見直しを検討してはどうか。

（事務局回答）バスの位置付けも含め、表現を整理したい。

○ 公共交通同士の接続改善や、駐輪場整備、シェアサイクル、カーシェアリング等を活用した乗継利便性の向上を図る必要がある。

○ パブリックコメントに加え、住民が意見交換できる機会についても検討してはどうか。

（事務局回答）承知した。

〈議題第3号 園福線地域旅客運送サービス継続実施計画（案）について〉

- 前回計画では路線継続を中心としていたが、今回は利用促進に向けた取組を新たに位置付けている。
 - 運行や運賃体系の維持だけでなく、自治体や交通事業者が連携した利用促進策を検討する必要がある。
 - 共通乗車券や1日乗り放題パスなど、利用促進につながる取組も考えられる。
 - キャッシュレス決済の導入については、「検討」にとどまらず、具体的な方向性が分かる内容とすることが望ましい。
- （事務局回答）国等の支援制度の活用も含め、実現に向けて取り組みたい。
- 実施済みの利用促進施策についても計画へ位置付ける必要がある。
 - 本計画は今後策定する地域公共交通計画の下位計画となることから、両計画の整合を図る必要がある。
 - 「検討」としている取組については、可能な限り具体的な内容となるよう整理する必要がある。